

平成21年度
社団法人新潟県臨床検査技師会
第1回通常総会議案書

日 時：平成21年5月24日（日）午後3時30分

場 所：朱鷺メッセ 301中会議室 新潟市中央区万代島6-1

次 第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 表彰
5. 議長選出
6. 議長挨拶
7. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員選出
 - 2) 書記任命
 - 3) 議事録署名人選出
8. 資格審査報告
9. 議案
 - 第1号議案 平成20年度事業報告について
 - 第2号議案 平成20年度収支決算報告について
 - 第3号議案 第49回東北医学検査学会報告について
 - 第4号議案 平成20年度監査報告について
 - 第5号議案 支部提出議案について
 - 第6号議案 日臨技第2回定期総会提出議案について
 - 第7号議案 平成21・22年度役員選出について
10. その他
11. 総会役員および書記解任
12. 議長挨拶
13. 閉会の辞

平成20年度事業報告

平成20年度事業報告について

平成20年度は、リーマンショックから始まった米国発の世界同時不況が、あっという間に全世界を席卷してしまった。今更ながら経済のグローバル化を実感し、世界経済は思っていた以上に関連が深いことを再認識させられた。この不況がどの位続くのか、出口も見えない状況ではあるが、各国が独善的な保護貿易に向かわないことを願いたい。保護貿易主義の成れの果てに、最悪の事態として戦争があることを歴史が証明している。

一方医療に目を転じると、高齢化の進展による医療費抑制を目的とした医療制度改革の成果が、見事に結実して来ている。皮肉ではなく、医師不足を背景に、病院の閉鎖、縮小や統廃合の話が後を絶たず、現在約8割の病院が赤字経営となっており、地方では更に顕著だと言われている。国民医療が危機に瀕している現状が、過渡期なのか、医療制度改革の真の目的なのか注視して行かなければいけない。

この様に厳しい情勢ではあるが、当技師会は各支部や検査研究部門と連携をとりながら、学術部、広報部、総務部を中心に懸命に活動してきた。

今年度は、10月18、19日の第49回東北医学検査学会開催に特に力を傾注した。一般演題、参加者数共に過去最高を記録したが、数だけでなく内容的にも多彩で、多くの参加者より賞賛の声もいただいた。ご協力いただいた多くの会員に、心より感謝したい。しかし、幾つかの反省点もあり、7年後の次回開催に活かしていただきたい。

公益事業については、5月10日に開催した第2回臨床検査セミナーをはじめ東北医学検査学会での市民公開講演や健康まつり、10月26日に開催された「ピンクリボンホリデー 2008」への参画。12月6日県内4市で拡大実施したエイズ撲滅キャンペーン街宣活動等、何れも臨床検査、臨床検査技師の一般市民への認知度向上を図ることを目的とした。短期間で効果が現われるものではないので、今後も事業を継続して行く必要がある。

平成20年度より開始された特定健診・特定保健指導に対応するため、日臨技と連携した臨床検査データ標準化事業は2年目となるが、県内4施設の基幹施設から全面的な協力を得て標準化事業を推進した。今後も計画されている3年間で、県内検査データの標準化に寄与したい。

さらに新潟県、県医師会より委託を受け実施している精度管理事業や、地道な登録作業に追われる生涯教育制度については、担当委員各位の努力に感謝したい。

検査研究部門も、会員ニーズに応えるため各部門が活発に活動した。特に中越支部と連携した初心者を対象とした卒後研修会が好評で、研修方法の新たなスタイルを確立したといえる。

広報部においては、技師会ホームページは、ホームページ担当委員の継続的努力により、定期的な更新がなされ、各種案内の速報性、情報の公開性が維持された。また、学会ホームページもその運営は見事な出来栄えとの評価を得た。県技師会誌についても、編集委員の献身的な努力により年4回の定期刊行することが出来た。

総務部は諸事業を陰でささえる地味な部門ではあるが、学会開催による負担増にも拘らず、会務が滞ることがなかったことに感謝したい。

以上、事業概要として報告する。

しかし、まだ様々な懸案事項を抱えており、多様化する会員の要望、負託に十分応えられたか検証し、次年度への課題としたい。

【総務部】

1. 通常総会の開催

平成20年5月10日(土)ガレソンホール(ホテル東横イン)において平成20年度第1回通常総会を開催し、平成19年度事業報告、同決算報告並びに監査報告を行った。

これらについて、特に質疑はなく、拍手で承認された。

平成21年3月14日(土)、予算総会を中越支部で開催し、平成21年度事業計画案、同予算案を提案し、満場一致で承認された。

2. 会務の執行体制

1) 職務分担

平成20年度は役員任期の後期にあたったが、前年度同様に学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、会務を執行した。

2) 事務局体制

阿部事務員の努力により技師会運営に関わる諸業務を円滑に進めることができた。

また、日臨技JAMTISを積極的に運用し、会員情報登録、変更等の迅速化がさらに推進された。

3. 諸会議の開催

第49回東北医学検査学会が新潟県で開催されたことから、東北学会企画委員会および準備委員会を8回開催した。

また、平成20年10月17日(金)、新潟市において東北代表者会議が開催され、臨床検査に関わる諸問題や、第49回東北医学検査学会の説明および第50回東北医学検査学会開催について協議した。

- 1) 理事会 第1回 平成20年4月12日(新潟県総合公社ビル)
- 第2回 平成20年5月24日(新潟県総合公社ビル)
- 第3回 平成20年7月19日(新潟県総合公社ビル)
- 第4回 平成20年9月20日(新潟県総合公社ビル)
- 第5回 平成20年12月20日(新潟県総合公社ビル)
- 第6回 平成21年3月14日(立川メディカルセンター講堂)

2) 常任理事会

定例常任理事会は従来どおり原則として毎月第2土曜日に開催し、平成20年度は4回開催した。

3) 三役会議

東北学会関連会議等を利用し、特に三役会議としては開催しなかった。

4) 各種委員会の開催

(1) 会誌編集委員会

新臨技会誌(季刊発行)第267号から第270号の編集業務のため、編集委員会を4回開催した。

(2) HP委員会

会員への早急な情報伝達手段としてのHPを積極的に運用するべく委員会を開催し、内容やレイアウト等の検討を行い会員から親しまれるHPをめざした。

(3) 検査研究部門委員会

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

(4) 生涯教育研修委員会

生涯教育委員会の活動計画、認定プロセスや業務の確認、今後の課題について協議するため1回開催した。

(5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため5回開催した。

(6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため2回開催した。

4. 組織対策

1) 入会対策

前年度同様、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めてきた。

本年度の新入会および再入会の会員は66名であった。会員数の減少傾向に歯止めがかかったが、今後も予断を許さない状況にある。なお、本会の正会員総数は1,224名(平成21年3月現在)である。

また、技師連盟入会者は各位のご協力により80名となった。臨床検査を取り巻く環境が厳しくなっていて行く中で、検査技師の業務拡大及び地位向上のために更に会員への勧誘を強化する。

2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

5. 地域保健医療活動および公益事業

1) 一般公開としての第2回臨床検査セミナーを開催。(5月10日)

2) にいがた・骨髄バンクを育てる会、アイバンクへ賛助会員として参画

3) すこやかともしびまつりへ中越支部が共催団体として参画(10月11・12日)

4) 三条市市民公開講座へ中越支部が共催団体として参画(10月11日)

5) 東北医学検査学会の特別講演と教育講演を一般公開として実施。(10月18・19日)

6) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画(10月25日)

7) ピンクリボンホリデーへ新潟県臨床検査技師会として参画(10月26日)

8) エイズ撲滅キャンペーンに各支部参画(12月6日)*チラシ配布

6. 無料職業紹介事業

厳しい就職状況を反映し、求人数の減少が続いている。

求職登録者数3名 求人数9施設

7. 災害見舞い

岩手宮城内陸地震が発生したことを受け、被災県の技師会にお見舞金を送るべく募金活動を実施した。

8. 表彰関係(敬称略)

1) 第26回篠川至賞(篠川至賞選考委員会を経て平成20年5月10日通常総会にて表彰)

特別功労賞 相田 清治(新潟支部)

学術奨励賞 山崎 恒(中越支部)

2) 平成20年度会長表彰(平成20年5月10日通常総会にて表彰)

(1) 特別功労者表彰

阿部津江子(新潟支部) 丸山 守(新潟支部)

田巻 寿人(新潟支部) 斎藤 大造(新潟支部)

倉島 均(新潟支部) 羽二生 修(新潟支部)

伊藤 剛栄(新潟支部) 矢貫 恒一(新潟支部)

藤野 良昭(中越支部) 山口 勇司(中越支部)

稲田 新一(上越支部)

(2) 永年会員功労者表彰

該当者184名

3) 第49回東北医学検査学会表彰(平成20年10月18日新潟県学会式典にて表彰)

功労賞受賞者 阿部 康彦(新潟支部)

学術賞受賞者 大谷内健二（新潟支部）

4）平成20年度生涯教育表彰（平成20年5月10日通常総会にて表彰）

奨励賞 菅原 芳秋（新潟支部）285点

高野 操（新潟支部）255点

田村 恵子（上越支部）255点

新人賞 栗林 篤史（新潟支部）240点（全体4位）

【学術部】

1. 学会

第49回東北医学検査学会

日時：平成20年10月18日（土）～19日（日）

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

参加者総数：1,581名（会員：767名 非会員：159名 学生：205名 一般：450名）

第1日目 平成20年10月18日（土）9：00（受付開始）

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	展示
一般演題 1～12			一般演題 13～22	一般演題 23～34	一般演題 35～45	一般演題 46～58	一般演題 59～69	機器・試薬 展示
		健康まつり	ランチョンA	ランチョンB	ランチョンC	ランチョンD	ランチョンE	
公開講演 火坂雅志 氏				サテライト	ワークショップ			
教育講演 藤田紘一郎 先生								
"トキめき" ウォータークルージング								
学会記念式典								
情報交換会								

第2日目 平成20年10月19日（日）9：00（受付開始）

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	展示
一般演題 70～78	一般演題 79～88	一般演題 89～96	一般演題 97～105	一般演題 106～112	ワークショップ	一般演題 113～122	一般演題 123～131	機器・試薬 展示
レクチャー A	レクチャー B	レクチャー C	レクチャー D	レクチャー E		レクチャー F	レクチャー G	

2. 検査研究部門

検査研究部門は、6部門14担当分野の体制で活動し、役員任期の2年目を全員継続して担当した。研究班の単位名称を東北臨床検査技師会に準拠して「領域」から「分野」に改めた。研修会は合計19回行われ、延べ参加人数は会員が880名、非会員が100名、合計数は980名であり、昨年度に比べ1.1倍の増加を認めた。輸血、遺伝子分野では東北臨床検査技師会の部門研修を担当した。また、両分野は認定技師や専門家による実習形式の研

修を実施し、若手や初心者、認定技師取得希望者のための具体的な技術指導が行われ大変好評を得た。

平成20年度は第49回東北医学検査学会の開催担当県であった。検査研究部門からは分野長の片桐智美氏、菅原芳秋氏、大谷内健二氏、山崎恒氏、高口功氏らが企画委員に加わった。形態検査部門と微生物分野により、顕微鏡検査に携わる分野合同の「とき目輝」マイクロワールドブースを設けた。様々な症例や事例を提示した鏡検コーナーは大勢の来場者を得た。また、レクチャーやランチョンセミナーの企画にも積極的に参加した。

研究分野への活動補助金は今年度から分野単位で8万円に増額され、事務局の理解に感謝する。その代わりに前年度残金から按分配分が取りやめとなった。研修会参加者の10.2%は非会員であったが、前年度に比べ会員率は向上した。

新臨技誌への研修会参加報告の掲載も好評であり、担当者のご苦勞であるが、研修会で学んだ内容をもう一度整理し、より充実した理解を得るための一助になっていると思われる。研修会開催予定日の電子メール速報案内を、分野企画だけでなく支部研修会や登録団体研究会などにも拡大した。日程調整を仔細に実施することで多くの研修会や研究会に参加できる機会が増加したと思われる。

平成20年度検査研究部門開催研修会

領域	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
臨床化学分野	平成20年 8月2日	専門 20	16	2	1) 日本医師会精度管理調査における新しい評価方法、OL法による評価について 2) 不確かさ-実践編-ソフトを用いない算出方法 シスメックス(株) 学術情報 市川 武志 会場: 県立がんセンター新潟病院講堂
免疫分野	平成21年 3月7日	専門 20	16	3	生化学分析における免疫反応の基礎知識 デンカ生研(株) 臨床試薬科 山崎 忠 会場: 新潟大学医学総合病院MINCS室
遺伝子分野	平成20年 11月 8~9日 (東北臨床検査技師会部門研修会と合同)	専門 30	48	14	1) 抗HLA抗体とFACSを使用した新規キメリズム解析法による臍帯血移植後の病態解析 東京大学医科学研究所 FACSコアラボラトリー 渡辺 信和 2) ヒトゲノムを学ぼう! 遺伝子の基礎編-最近の見解をまじえながら- 癌研有明病院遺伝子診断部 須貝 幸子 3) 分子標的治療と遺伝子検査 ロシュ・ダイアグノスティックス(株) IVD事業部 三好 康弘 4) 次世代の遺伝子検査について-HER2・FISHとリアルタイムPCR法- アボットジャパン(株) 5) JMCoeプログラムによるbcr-abl標準化アッセイ ロシュ・ダイアグノスティックス(株) IVD事業部 三好 康弘 6) 「TacManアッセイ法によるリアルタイムPCR法」の実習 会場: 新潟大学医学部第1講義室・実験室

生理機能検査 部門	平成20年 7月26日	専門 20	87	6	<p>1) 検査技師のための聴診講座 長岡赤十字病院循環器内科部長 藤田 俊夫</p> <p>2) 初心者セミナー - 症例から学ぶ - 1. 心電図のポイント 初歩からACSまで 新潟こばり病院 斎藤 修 2. 心エコー ~症例別 このポイントは押さえよう~ 済生会三条病院 桑原喜久男 3. 症例から学ぶ 腹部・乳房超音波検査 - 基本のき - 岩室成人病検診センター 金子 玲子 会場：長岡赤十字病院</p>
	平成20年 8月23日	専門 30	65		<p>1) 症状からみた心臓病 新潟市民病院 循環器科部長 教育研修部長 小田 弘隆</p> <p>2) 新潟市民病院における生理検査システム 日本光電工業(株) SEグループ 西 俊行</p> <p>3) 新潟市民病院 検査室見学 会場：新潟市民病院講堂</p>
	平成20年 9月27日	専門 20	53	5	<p>1) 肺機能検査における装置の保守点検と感染予防 フクダ電子(株) 商事検査課 三浦 正俊</p> <p>2) 良い肺機能検査を実施するためには - 講演 & 実技講習 - 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 検査技術部 大久保輝男 会場：長岡赤十字病院会議室</p>
	平成20年 10月17日	専門 20	59	4	<p>【心エコーセミナー】</p> <p>1) 超音波診断は3D診断・解析の時代へ 東芝メディカルシステムズ(株) 営業推進部 島野 俊彰</p> <p>2) 心エコーで心不全を診る - 心不全という疾患概念が持つ本質についてとそれをエ コーでどう診るか - 群馬大学大学院医学系研究科・臓器病態内科学 根岸 一明</p> <p>3) 心エコー Q & A 会場：プラカ健康増進センター</p>
細胞分野	平成20年 8月30日	専門 20	29	5	<p>【リンパ節細胞診の見方】</p> <p>①講演 ②鏡検, 解説 昭和大学藤が丘病院病院病理科・研究室病理 岸本 浩次 助言者：県立新発田病院病理科 若木 邦彦 済生会新潟第二病院 病理科 石原 法子 会場：県立がんセンター新潟病院講堂</p>

病理分野	平成20年 9月27日	専門 20	20	6	1) 病理検査の収支管理 サクラファインテックジャパン (株) マーケティング部 野島 久美子 2) 病理検査室におけるホルムアルデヒド取り扱い - 改正特定化学物質障害予防規則対策として - 千葉北総病院 病理部 清水 秀樹 会場: 新潟大学医歯学総合病院MINCS室
	平成21年 2月 25・26日	専門 20	18	2	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習会 会場: 新潟ウェルネス
一般検査分野	平成20年 6月14日	専門 20	50	3	【おもしろ尿沈渣セミナー(初級編)】 1) 手技を学ぶ ・顕微鏡の調整法 ・尿検体の保存方法 ・保存標本作製と鏡検, カウント等 2) 細胞成分を学ぶ ・尿沈渣成分の分類と特徴 ・スライドカンファレンス 会場: 新潟医療技術専門学校
	平成20年 7月12日	専門 20	67	14	1) 尿路結石症の成因・診断・治療 新潟こばり病院泌尿器科 木村 元彦 2) 尿沈渣像から考えられる尿路結石症 大原総合病院臨床検査部 赤間 孝紀 3) 認定一般検査技師取得について 白鳥三恵子 会場: 新潟大学医学部第二講義室
	平成21年 2月28日	専門 20	50	3	【おもしろ尿沈渣セミナー(初級編) no.3】 1) 鏡検 (円柱類, 上皮成分, 異型細胞 等) 2) 症例検討 3) スライドカンファレンス 4) 意見交換 (事前のアンケートより, 質疑応答) 会場: 新潟医療技術専門学校 実習室
血液分野	平成20年 7月5日	専門 20	25	3	1) 目視再検基準アンケート結果報告 長岡西病院臨床検査室 角屋 勇気 2) 病理からみた白血病 県立がんセンター新潟病院研究部 根本 啓一 会場: 県立がんセンター新潟病院講堂

微生物分野	平成20年 7月26日	専門 20	48	1	<p>【結核の微生物検査】</p> <p>1) リアルタイムPCR法を用いたコバスTaqManMTBについて ロシュ・ダイアグノスティックス (株) 金子 雅一</p> <p>2) 結核診療の基本と現状 西新潟中央病院内科 桑原 克弘</p> <p>3) 抗酸菌検査の現状 西新潟中央病院 渡辺 靖</p> <p>4) 結核 行政対応の現状 新潟市保健所保健管理課健康危機管理室 山崎 哲</p> <p>会場：新潟大学医学部第五講義室</p>
	平成21年 2月21日	専門 20	41		<p>【血液培養】</p> <p>1) 来年度の役員について</p> <p>2) 敗血症の臨床について - 診断と治療の観点から - 長岡赤十字病院 感染症科 西堀 武明</p> <p>3) 症例紹介</p> <p>1. 当院の血液培養の現状と肺炎球菌の1例 独立行政法人国立病院機構新潟病院 研究検査科 柳田 光利</p> <p>2. Haemophilus influenzaeによる化膿性髄膜炎および菌血症 立川総合病院 石田 真一</p> <p>3. 血培から検出されたリステリアの1症例 下越病院 高橋 真帆</p> <p>4. 臨床微生物検査の効率化 血液, 血管カテーテルの検査 駿河台日本大学病院 臨床検査部 西山 宏幸</p> <p>会場：長岡赤十字病院第一会議室</p>
疫学分野	平成21年 2月28日	専門 20	44	15	<p>1) 腸管出血性大腸菌の検査方法 栄研化学 (株) マーケティング推進室 渋谷 亮</p> <p>2) カンピロバクター食中毒と鶏肉汚染 埼玉県衛生研究所 小野 一晃</p> <p>会場：新潟ユニゾンプラザ</p>
輸血分野	平成20年 11月 15～16日 (東北臨床検査技師会部門研修会担当)	専門 30	112	10	<p>【患者のベネフィットを考え、顔の見える検査技師をめざして】</p> <p>実習</p> <p>A：上級コース；実践的実技の習得（認定取得向き） DT解離, 抗体同定検査等</p> <p>B：初級コース；基本的実技の習得（tube法とMTS法） ABO, Rh血液型と不規則抗体検査</p>

					<p>講義</p> <p>1) 輸血検査における異常反応への対応 オリパス(株) 輸血事業推進室 柿沼 幸利</p> <p>2) 輸血医療において検査技師に期待される事 山形大学医学部付属病院輸血部 高橋 俊二</p> <p>3) 多様化した同種造血幹細胞移植 新潟大学医歯学総合病院 高密度無菌治療部 増子 正義</p> <p>4) 再生医療の基盤と臨床応用—安全かつ有効な再生医療の実現をめざして 新潟大学医歯学総合病院 輸血・再生医療部門 布施 一郎</p> <p>会場：新潟大学医学部保健学科D棟41講義室</p>
	平成21年 3月29日	専門 20	32	4	<p>1) 臨床検査におけるフローサイトメトリー —データーをどう見る？どう考える？— ベックマン・コールター(株) 青山 浩二</p> <p>2) 輸血副作用症例報告と検査業務委託の現状と今後 新潟県赤十字血液センター 瀬下 敏</p> <p>会場：新潟市民病院</p>

3. 精度管理事業

新潟県から新潟県医師会への委託事業である本事業は、平成20年度で29回目を数えた。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすとともに、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は昨年度と同じく、学術及び、関係分野の臨床化学検査、情報管理、微生物検査さらに、血液検査(血球計数)実施のため血液検査分野から選出された若干名で構成された。委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計5回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

本年度の実施項目は昨年度と同様の27項目であった。評価対象項目は昨年度と同じ項目に、コリンエステラーゼ、尿素窒素を追加した。本年度より精度評価の参考として利用してもらうため、LDLコレステロールは参考評価(各メーカー参考値によるメーカー別評価)を実施した。さらに、コリンエステラーゼについては、実施要項に記載したとおり、すべての測定方法において評価を実施した。一部の施設より評価に対するご意見をいただいたが、本精度管理調査は標準化が一つの大きな目的であり、段階を踏んで評価を実施しており、ご理解をいただきたい。また、サーベイ試料にバイアル間差があることが判明し、調査の結果ALTにのみ現れていたため、ALTの評価基準を±10%とした。なお、ドライケミストリー法についても本年度より昨年度設定した評価基準で評価を行った。委員会では昨年度の検討会で質問があった事項について、検討を加え本年度の検討会で報告を行い、調査のみではなく検査情報も提供している。

今年度は集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に臨床化学のみではなく、微生物調査についても調査結果報告用ファイルをWebよりダウンロードする方法を実施した。施設の事情に合わせて用紙での報告も受け付けたが、参加施設(臨床化学・微生物)157施設のうち、Web利用147施設、用紙報告11施設であった。

精度管理調査事業の内容(実施要項)は以下のとおりである。

1) 臨床化学

測定日：平成20年10月27日（月）より施設に配布し，到着次第速やかに実施。

測定項目：Glu, TG, TC, HDL-C, Cre, UA, γ -GTP, AST, ALT, ALP, LD, HbA1c, CK, AMY, Na, K, Cl, 尿素窒素, ChEの19項目。

調査のみとしてLDL-C, 無機リン, 総蛋白, 総ビリルビン, Alb, Fe, CRP, Ca, の8項目。

サンプル：以下の4種類

（臨床化学用）

人凍結管理血清サンプル I, II

（HbA1c用）

人生赤血球サンプルA, B

（ドライケミストリー用）

人プール血清DRY I, II

報告締め切り：平成20年11月4日（火）必着。

2) 微生物検査

検査日：平成20年10月27日（月）より施設に配布し，到着次第速やかに実施。

検査項目：試料中の病原菌の同定（血清型別実施可能な施設は必要に応じて実施）

感受性検査

サンプル：同定検査A, B, Cの3種類。

感受性検査 Iの1種類。

報告締め切り：平成20年11月7日（金）必着。

集計概略は参加施設数157施設，臨床化学140施設（内HbA1cは115施設），微生物検査同定75施設，感受性検査61施設であった。

臨床化学検査については，データ集計後12月22日（月）に施設別報告書を各施設に送付した。本年度も評価対象項目のすべてのサンプルにおいて評価を行ない，ドライケミストリー法も独自の評価基準で評価したが，使用施設数が5未満の測定方法については評価対象外とし，「A」は許容限界内，「B」は許容限界の2倍以内，「C」は許容限界の2倍超とした。又，AMYについては今回はJCCLS標準化対応法以外の施設も評価を行った。

今年度も精度管理の意識向上を目的に施設名を公表する事とした。最終集計結果については新潟県臨床精度管理協議会において検討し，昨年同様臨床検査精度管理調査検討会（報告会）は生物検査技術職員研修会と合同で平成21年3月26日（木）に自治会館で開催され，県知事名の参加証が交付された。

平成19年度より，日臨技データ標準化事業が始まり，本年度も基幹施設（新潟大学医歯学総合病院，県立がんセンター新潟病院，厚生連刈羽郡総合病院，新潟県労働医学協会新潟ウェルネス）での活動が順調に進行した。本県の基幹施設の精度は非常に良好であった。しかし，参加施設数が昨年同様約80施設と少なく，情報提供など不十分であった。

4. 生涯教育研修制度

日臨技生涯教育研修制度が改正され，教科区分の変更がなされ2年がたった。この間，各検査研究部門及び各支部は数多くの研修会を実施し，改正以前と比べ会員の履修機会の拡大が行われた。特に，専門教科では資格取得を目指した研修や卒後教育等，基礎を重視した研修が多く行われた。また，今年度は公益法人化に向けボランティア活動を広めていくなかで，生涯教育行事登録を行い，活動を支援した。

平成20年度の登録団体・共催団体・関連団体と，その研修会は次の通りである。

1) 登録団体

新潟県厚生連臨床検査技師会

平成20年6月1日 平成20年度JA新潟厚生連検査技師会 春季研修会

平成20年11月9日 平成20年度JA新潟厚生連検査技師会 秋季研修会

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会

平成21年2月22日 第4回新潟セミナー

2) 共催団体

日本臨床細胞学会

平成20年6月27日 平成20年度 細胞診研修会

平成20年12月20日 第1回日本臨床細胞学会新潟支部研修会

新潟血液同好会

平成20年6月28日 第43回新潟血液同好会

新潟血栓止血研究会

平成20年7月19日 第49回新潟血栓止血研究会

上越糖尿病・内分泌研究会

平成20年7月25日 第36回上越糖尿病内分泌研究会

平成20年11月7日 第37回上越糖尿病内分泌研究会

新潟糖尿病学会

平成20年8月24日 第18回新潟糖尿病スタッフセミナー

上越循環器談話会

平成20年12月12日 第30回上越循環器談話会

新潟県輸血研究会

平成21年3月14日 第23回新潟県輸血研究会及び新潟県輸血フォーラム2009

3) 関連団体

上越医師会

平成20年5月15日 上越医師会連合会学術講演会

平成21年2月3日 上越医師会連合会学術講演会

長岡市すこやかとしびまつり実行委員会

平成20年10月11日 すこやかとしびまつり2008

三条市

平成20年10月11日 第4回三条市民公開講座

長岡医師会

平成20年10月25日 第22回糖尿病をしるつどい

日本心電学会

平成20年11月2日 第25回日本心電学会

【広報部】

新臨技会誌の発行、新臨技ニュース、ホームページの運営を通して会員に情報を的確にタイムリーに伝えられる編集活動を実施した。本年度は東北学会に向け、会員一丸になって取り組んだ年でもあった。広報部としては、抄録集の作成および学会当日は記録担当として各会場の撮影を担当し写真の枚数は1126枚に及んだ。また次回に生かすため参加者や学生からのアンケートを実施し集計した。またHPは学会のPCをすべて担当してくれた。学会ホームページを立ち上げ、JAMTISを用いた演題登録はリアルタイムに閲覧することができ好

評であった。学会では11台のPCを使用した。互換性のトラブルを回避するため、OS・ソフトともに最新Verを使用した。ウイルス対応、ルーター購入により会場内の無線LANを構築するなど最大限の設定を行った。131題のスライドファイルCD-Rを各会場のPCにコピーし、予備・受付PCにはトラブルに備え全てのファイルを挿入して当日に臨んだ。編集やHPは地道な作業であるが、担当ひとりひとりの責任感と熱意が学会成功を成し遂げたと確信する。慌しいなかでも、会誌の発刊、HPの充実にとりくみ、県内各支部の情報や学会、研修会の日程等々、リアルタイムで伝えられるよう努力をしてきた。以下に本年度の活動を報告する。

(1) 新臨技会誌

年4回 季刊発行(267号から270号まで)

<平成20年度会誌掲載内容>

第267号 平成20年4月1日

[講義] これからの医学検査に対する期待……………三間 孝

[案内] 認定心電検査技師制度……………渡邊 博昭

[研修会参加報告]

形態検査部門血液研修会……………松永由希恵

移植検査部門輸血移植分野研修会……………山田 弘美

感染症制御部門疫学領域研修会……………山之内清子

感染制御部門微生物領域研修会……………宮島 陽子

[ペンリレー] 不思議発見!!……………黒崎 和広

[会報] 平成20年度(社)新潟県臨床検査技師会第1回通常総会議案書

中越沖地震見舞金一覧

平成20年度事業計画

平成20年度予算

平成19年度(社)新潟県臨床検査技師会第2回通常総会議事録

会員からのご意見、ご要望

12月常任理事会議事録

第5回理事会議事録

会員消息

新臨技会日誌

第268号 平成20年7月1日

[あいさつ] 平成20年度にあたり……………松田 和博

[特別寄稿] ISO15189認定を取得して……………金井 芳子

[弔辞] 本間千鶴子さんを偲んで……………高橋 克美

[研修会参加報告]

平成19年度東北臨床検査技師会生物化学分析部門・遺伝子検査分野

(社)新潟県臨床検査技師会生物化学分野・遺伝子検査分野合同研修会……………伊藤 正行

平成19年度東北臨床検査技師会生物化学分析部門・遺伝子検査分野

(社)新潟県臨床検査技師会生物化学分野・遺伝子検査分野合同研修会……………上村 正巳

生物化学分析部門免疫領域研修会……………小林 進

[ペンリレー] A(阿房)列車で行こう!!……………渡邊 直樹

[検査技師として～私の思い出～]

検査技師として～私の思い出～……………田中 祥子

検査技師として～私の思い出～	三富 圭
学生から今に至る「検査」に対する意識変化	松雪 咲身
臨床検査技師として	佐藤 未来
臨床検査技師としての私の思い出	小越 玲子

〔会報〕 平成20年度(社)新潟県臨床検査技師会第1回通常総会議事録

平成19年度監査報告
2月常任理事会議事録
第1回理事会議事録
第2回理事会議事録
新入会員紹介
新臨技会日誌
会員消息

第269号 平成20年10月1日

〔講義〕 もっと光を“病理が生き残るためには”	橋立 英樹
-------------------------	-------

〔紹介〕 中越沖地震1年後のエコノミークラス症候群予防検診	品田 恭子
-------------------------------	-------

〔受賞者のことば〕

笹川至賞を受賞して	山崎 恒
生涯教育新人賞を受賞して	栗林 篤史

〔研修会参加報告〕

おもしろ尿沈渣セミナー	森山 直美
平成20年度東北臨床検査技師会形態検査部門第15回病理検査・	
第11回細胞検査合同研修会	竹下奈津子
形態検査部門病理検査領域研修会	大関 尚子
感染制御部門微生物分野研修会	須藤 伸子
生理研修会	阿部 千尋
生物化学分析部門臨床化学分野研修会	星野美保子
生理機能検査部門研修会	高橋 一哲

〔ペンリレー〕 我が家のアイドル	今村 正亮
------------------	-------

〔検査技師として～私の思い出～〕

検査技師として～私の思い出～	長阪 佳美
検査技師として～私の思い出～	西江 良介
未来に向かって	山崎 聡子
臨床検査技師として目標とすること	古島 香織
臨床検査技師としての私の思い出	小野里実香

〔会報〕 6月常任理事会議事録

第3回理事会議事録
8月常任理事会議事録
新入会員紹介
会員消息
新臨技会日誌

第270号 平成21年1月1日

〔あいさつ〕 新年ごあいさつ……………松田 和博

〔東北医学検査学会特集〕

学会長式辞……………松田 和博

<講義 1> 新興・再興感染症への検査室への対応

インフルエンザ・パンデミックに注目して……………鈴木 宏ほか

<講義 2> 輸血検査におけるリスク管理……………佐々木正照

<受賞者のことば> 奨励賞を受賞して……………大谷内健二

<学会参加者の声(県外参加者)>

第49回東北医学検査学会に参加して……………青森県 山崎 正夫

第49回東北医学検査学会に参加して……………岩手県 米倉香奈子

第49回東北医学検査学会に参加して……………秋田県 貝田奈津子

第49回東北医学検査学会に参加して……………山形県 山田 敏弘

第49回東北医学検査学会に参加して……………宮城県 藤井 良美

第49回東北医学検査学会に参加して……………福島県 米倉めぐみ

<学会参加者の声(健康まつり実務委員)>

『ときめきは“いま”』～ふれあう実践～in健康まつり編……………石田 真一

第49回東北医学検査学会 ～健康まつりに参加して～……………遠藤 夏美

<学会参加者の声(ワークショップ実務委員)>

第49回東北医学検査学会 ワークショップに参加して……………松永 克美

第49回東北医学検査学会 ワークショップに参加して……………水野 祐子

<学会報告>

<会員アンケート集計結果>

<学生アンケート集計結果>

<実務委員一覧>

<助成金一覧>

〔研修会参加報告〕

生理機能検査部門研修会……………小林 清子

〔ペンリレー〕……………坂西 清

〔検査技師として～私の思い出～〕

検査技師として～私の思い出～……………小松亜紀子

検査技師として～私の思い出～……………細貝みゆき

検査技師として……………小熊 康子

検査技師として～私の思い出～……………室井亜矢子

臨床検査技師としての私の思い出

～今までを振り返り そしてこれから～……………若林 星華

〔会報〕 第4回理事会議事録

11月常任理事会議事録

新入会員紹介

会員消息

新臨技会日誌

〔お知らせ〕 新潟支部規約改正のお知らせ

〔案 内〕 平成21年度会費納入のお願い

(2) 新臨技ニュース

ニュース担当理事の努力により、理事会議事録を中心に毎月発行することが出来た。組織活動・研修会案内・求人情報など速報性のある内容を順次掲載して充実をはかるとともに、レイアウトも印刷も新しく会員に喜ばれる新臨技ニュースとなっている。特に本年度は東北学会の進捗状況を的確に把握し掲載してくれた。

(3) ホームページ

研究班活動・事務局連絡・規約等を見やすく掲載し、県内の会員がリアルタイムに情報が得られるよう工夫している。事務局との連携を密に行うことで新しい情報のすみやかな掲載が可能となっている。HP委員と各支部長の綿密な連絡により支部活動や議事録の掲載が瞬時に行われている。

【支部研究会等】

上越支部

2008上越医師会学術講演会	平成20. 5. 15
上越支部レクレーション (竹 de ご飯)	平成20. 5. 24
平成19年度上越支部通常決算総会	平成20. 6. 25
生理機能検査研究班研修会 (肺機能検査について)	平成20. 6. 30
第36回上越糖尿病内分泌研究会	平成20. 7. 25
第49回東北医学検査学会 (新潟市)	平成20.10.18
〃	平成20.10.19
形態検査研究班研修会 (輸血検査の基礎)	平成20.10.29
第37回上越糖尿病内分泌研究会	平成20.11. 7
検体検査研究班研修会 (災害対策)	平成20.11.27
エイズ撲滅キャンペーン in 上越支部	平成20.12. 6
第30回上越循環器談話会	平成20.12.12
2009上越医師会学術講演会	平成21. 2. 3
第93回上越支部研修会	平成21. 3. 7
平成20年度上越支部通常総会	平成21. 3. 7

中越支部

H20年3月8日(土)・H19年度中越支部講演会

会場：長岡総合病院 2F 講堂

講演：「メンタルヘルスのリスクマネジメント」

講師：株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント

取締役 坂野弘太郎 先生

H20年3月8日(土)・H20年度中越支部通常総会

会場：長岡中央総合病院 2F 講堂

議長：横山 修市 (厚生連長岡中央総合病院)

H20年6月28日(土)・H20年度中越支部フォーラム メインテーマ “臨床検査を取り巻く環境”

会場：長岡赤十字病院 2F 第一会議室

講演 I：「食と健康 ～食事を通しての医療～」

講師 ひまわり歯科医院 院長 鈴木 公子先生

講演Ⅱ：「今後の検査室のあり方について ～FMS・ランチをどう考えるか～」

講師 アボットジャパン株式会社 ラボマネージメント推進室 合田 直行 先生

H20年11月29日(土)～30日(日)・H20年度ふれあい研修会

会場：立川メディカルセンター 多目的施設きほう講堂3F (立川総合病院立体駐車場隣)

テーマ「卒後教育 ～検査データから読む臨床～」

1日目：講義：血液検査 講師 厚生連魚沼病院 反町 彰志 先生

生理検査 講師 済生会三条病院 桑原喜久男 先生

2日目：講義：生化・免疫緊急検査 講師 県立十日町病院 小船井和弘 先生

講演：「コミュニケーションスキルアップ

～うまく、人とコミュニケーションをとるには？～」

講師：有限会社 人材育成研究所 エスオフィス 佐々木由美子 先生

H20年10月11日(土)・12日(日)・すこやかともしびまつり2008

会場：ハイブ長岡

来場者 約12,000人 ストレス度測定 590名

会員ボランティア技師 12名

H20年10月25日(土)・糖尿病を知る集い

会場：長岡市リリックホール (シアター)

来場者 300名 来場者簡易血糖測定 140名

会員ボランティア技師 7名

H20年10月11日(土)・三条市市民公開講座

会場：三条市総合福祉センター

来場者 300名 来場者に簡易血糖測定・動脈硬化度測定

血糖測定 200名 PWV 60名

会員ボランティア技師 12名

H20年12月6日(土)・エイズ撲滅キャンペーン

会場：リバーサイド千秋長岡アピタ店

日臨技エイズ撲滅キャンペーンチラシ300枚・新潟県作成チラシ300枚配布

会員ボランティア技師 16名

〈平成20年度会議録〉

第1回理事会 平成20年4月24日(木)立川総合病院4F

議題：年間行事計画、支部フォーラムについて 他

第2回理事会 平成20年5月15日(木)立川総合病院4F

議題：支部フォーラム、ふれあい研修会、東北学会について 他

第3回理事会 平成20年6月20日(木)立川総合病院4F

議題：支部フォーラム、ふれあい研修会、東北学会について 他

第4回理事会 平成20年7月25日(木)立川総合病院4F

議題：ふれあい研修会・支部研究会・糖尿病をしるつどい・三条市市民公開講座・東北学会について 他

第5回理事会 平成20年9月4日(金)立川総合病院4F

議題：ふれあい研修会・支部研究会、すこやかともしびまつり2008、糖尿病をしるつどい、三条市市民公開講座、東北学会健康まつりについて

第6回理事会 平成20年10月8日(水)立川総合病院4F

議題:ふれあい研修会・支部研究会,すこやかともしびまつり2008,糖尿病をしるつどい,三条市市民公開講座,東北学会健康まつりについて

第7回理事会 平成20年11月14日(金)立川総合病院4F

議題:ふれあい研修会・支部研究会の日程,世界エイズデー,中越支部講演会,支部総会,第2回(社)新潟県臨床検査技師会総会について

第8回理事会 平成21年1月10日(土)小島屋長岡本店

議題:中越支部講演会,支部総会・第2回(社)新潟県臨床検査技師会総会について
篠川至賞中越支部推薦について

第9回理事会 平成21年2月26日(木)立川総合病院4F

議題:中越支部講演会,支部総会・第2回(社)新潟県臨床検査技師会総会について

下越支部

<研修会等>

(1) 第1回支部研修会

日時:平成20年7月5日(土)14:00~16:00

場所:下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容:ウイルス・細菌検査の臨床的意義と検査試薬
生涯教育認定 専門20点

(2) エイズ撲滅啓発キャンペーン

日時:平成20年12月6日(土)14:00~16:00

場所:イオン新発田ショッピングセンター

内容:エイズ予防啓発チラシ等の配布
生涯教育認定 基礎20点

(3) 第2回支部研修会

日時:平成20年12月13日(土)13:50~16:30

場所:下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容:これからの検査室作りに役立つ“ISO15189”講演会
生涯教育認定 基礎20点

(4) 第3回支部研修会

日時:平成21年3月28日(土)14:00~16:30

場所:下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容:一般演題

手話によるコミュニケーション ~実践してみよう 見る言葉~

生涯教育認定 基礎20点

<下越支部理事会>

今年度は,東北医学検査学会・支部研修会打合せ等で8回開催した。

第1回:4月17日

第2回:6月5日

第3回:7月17日

第4回:9月18日

第5回:11月6日

第6回：12月13日

第7回：1月15日

第8回：3月12日

<ホームページ>

今年度は研修会予告・参加報告、理事会議事録掲載などで更新した。

佐渡支部

1. 学術活動

① 支部研修会（専門20点）

日時 平成20年7月26日（土）14：30～

会場 ファミリーオ相川

内容 講演 「絵で見る免疫学 細胞性免疫 ～HLAとは何か～」

講師 高木淳 先生（アボットジャパン株式会社学術顧問）

② 支部研修会（専門20点）

日時 平成20年12月13日（土）10：00～16：00

会場 佐渡総合病院検査室

内容 実習 「リトレーニング！血液型検査」

講師 笠井恵美子 技師（厚生連佐渡総合病院）

反町 彰志 技師（厚生連魚沼病院）

市村 正道 技師（厚生連豊栄病院）

③ 支部研修会（基礎20点）

日時 平成21年3月7日（金）14：00～

会場 佐渡市立両津病院2階「佐渡市両津保険センター」

内容 講演 「止血検査と臨床とのかかわり」

講師 宮本和典 先生（シスメックス株式会社 北関東支店 販売促進課 学術情報係）

講演 「NPOってなんだろう ～佐渡の様々な取り組みから～」

講師 井上由香 先生（NPO法人しまみらい振興機構 事務局長）

【登録団体の学術講演会】（専門10点）

① 日時 平成20年9月18日（木）18：45～

会場 佐渡総合病院講堂

内容 講演 「糖尿病と脂質管理」

講師 平山哲 先生（新潟大学歯学総合病院 第一内科 助教授）

② 日時 20年11月13日（木）18：45～

会場 佐渡総合病院講堂

内容 講演 「いかにスムーズに外来でインスリン導入を始めるか？」

講師 弘世貴久 先生（順天堂大学医学部 内科学教室 准教授）

③ 日時 平成20年11月21日（金）18：40～

会場 佐渡総合病院講堂

内容 講演 「うつ病診療の現状と問題点」

講師 浜矢俊幸 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野教授）

- ④ 日時 平成20年11月28日（金）17：30～
会場 ホテル 八幡館
内容 講演 「血圧の日常変動と日常診療における高血圧治療」
講師 大塚邦明 先生（東京女子医科大学東医療センター 内科 教授）

新潟支部

1. 学術及び組織活動

- 1) 講演会 31名参加
平成20年3月7日（金） 済生会新潟第二病院 A棟10階 会議室
「アロマセラピーの紹介と効用」
講師 新潟アロマセラピー学院 学院長 久保 泰雄 先生
- 2) 第111回新潟支部微生物研究会 17名参加
平成20年4月17日（木） 新潟大学医歯学総合病院 第5検討会室（病棟3階）
「ジフテリア症について」
講師 新潟信楽園病院 検査科 本間 康夫 技師
- 3) 第26回新潟支部一般検査研究会 27名参加
平成20年6月5日（木） 新潟ユニゾンプラザ4階小会議室1
司会：真島 満美子（日本歯科大学医科病院）
 - ① 「スライドカンファレンス（提示）」
講師 新潟医療技術専門学校 白川 千恵子 技師
 - ② 「尿定性検査の精度管理について」
講師 シスメックス株式会社 学術部
 - ③ スライドカンファレンス（検討）
 - ④ 連絡など
- 4) 第52回新潟支部血液研究会 23名参加
平成20年6月26日（木） 新潟市民病院 2階大会議室201号室
講演 「マラリア感染症」
講師 新潟市民病院 恩田 宏夫 技師
- 5) 第31回新潟病理技術研究会 27名参加
平成20年度新潟県形態検査部門病理検査領域研修会（共催）
平成20年7月5日（土） 新潟市民病院 4F講堂
 - I 「病理検査の臨地実習について」－アンケート集計報告を中心に－
講師 新潟大学第2病理学教室 大谷内 健二 技師
 - II 病院見学
講師 新潟市民病院 病理検査科 樋口 忠博 技師
 - III 連続迅速自動固定包埋装置「エクスプレス X50の紹介」
講師 サクラファイnteックジャパン 長井 澄絵 先生
 - IV 病理 －もっと光りを！－ “病理が生き残るためには…”
講師 新潟市民病院 病理科 橋立 英樹 先生
- 6) 第112回新潟支部微生物研究会 49名参加
平成20年7月12日（土） 新潟大学医歯学病院 小会議室（病棟12階）
講演 「血流感染を診断するための最良の手順」

講師 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 DSマーケティング部学術 武沢 敏行 先生
特別講演「グラム染色から学ぶ感染症」～菌はわかって当たり前～
講師 西神戸医療センター 臨床検査技術部チーフ 山本 剛 先生

7) 第113回新潟支部微生物研究会 21名参加

平成20年9月18日(木)新潟市民病院 大会議室(201号室)

1 「ノルカジア症について」

燕労災病院 検査科 樋口 元弥 技師

2 「文献紹介 グラム染色について」

済生会新潟第二病院 臨床検査科 千味 和宏 技師

8) 平成20年度新潟支部研修会 94名参加

平成20年10月 4日(土)新潟大学医歯学総合病院 第1講義室

研修会内容 「NSTって何？」

「NSTって何？いまさら聞けないNST」

講師 新潟大学医歯学総合病院 医師 小山 論 先生

「済生会新潟第二病院におけるNSTと薬剤師の関わり」

講師 済生会新潟第二病院 薬剤師 鈴木 光幸 先生

「西新潟中央病院におけるNSTと栄養士の関わり」

講師 西新潟中央病院 栄養士 永井 徹 先生

「NSTと看護師の関わり」

講師 木戸病院 看護師 舟越 洋子 先生

「新潟大学医歯学総合病院におけるNSTと臨床検査技師の関わり」

講師 新潟大学医歯学総合病院 検査技師 伊藤 正行 先生

ディスカッション 「NSTにおける今後の展望」

9) エイズ撲滅キャンペーン 13名参加

平成20年12月6日(土)新潟駅前

約400部(日臨技300部,保健所100部)を配布

10) 第27回新潟支部一般検査研究会 24名参加

平成21年2月12日(木)新潟ユニオンプラザ4F 小研修室2

司会:伊藤 太地子技師(新潟南病院)

1) スライドカンファレンス(提示)

新潟医療技術専門学校 白川 千恵子技師

2) 採尿前指導について

済生会新潟第二病院 栗林 篤史技師

3) 認定一般検査技師を受験して雑感

齋藤 清美技師,真島満美子技師,伊藤 太地子技師,小林ユミ子技師

4) スライドカンファレンス(検討・質疑)

5) 連絡など

11) 第14回新潟支部微生物研究会 17名参加

平成21年2月26日(木)新潟市民病院 大会議室(201号室)

1. 症例報告

「肺ノカルジア症および肺結核を合併した急性骨髄性白血病の一例について」

西新潟中央病院 検査科 渡辺 靖 技師

2. 文献紹介

「肺炎球菌尿中抗原検査の早期診断への貢献について」

新潟大学医歯学総合病院 検査部 青木 寿成 技師

2. 総会及び幹事会

- 1) 支部定期総会および第1回支部幹事会
平成20年3月7日(金) 済生会新潟第二病院
- 2) 第2回支部幹事会
平成20年4月16日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 3) 第3回支部幹事会
平成20年5月27日(火) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 4) 第4回支部幹事会
平成20年6月18日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 5) 第5回支部幹事会
平成20年7月23日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 6) 第6回支部幹事会
平成20年8月27日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 7) 第7回支部幹事会
平成20年9月24日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 8) 支部臨時総会
平成20年10月4日(土) 新潟大学医歯学総合病院
- 9) 第8回支部幹事会
平成20年11月12日(木) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 10) 第9回支部幹事会
平成21年1月14日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所
- 11) 第10回支部幹事会
平成21年2月18日(水) 新潟県臨床検査技師会事務所

【主要行動報告】

1. 新潟医療技術専門学校入学式へ松田会長出席(4月4日)
2. 第26回篠川至賞選考委員会(4月4日)
3. 北里大学保健衛生専門学院入学式へ松田会長出席(4月9日)
4. 第1回理事会・第3回東北医学検査学会準備委員会(4月12日)
5. 平成20年度検査データ標準化委員会(4月23日)
6. 平成19年度技師会事業監査(5月7日)
7. 臨床検査セミナー・総会準備に堀川事務局長、小柳事務局次長が出席(5月9日)
8. 第2回臨床検査セミナー・第1回通常総会(5月10日)
9. 日臨技役員選考委員会(東京・日臨技会館)へ永井監事出席(5月16日)
10. 学術部門会議・第4回東北医学検査学会準備委員会・第2回理事会(5月24日)
11. 6月常任理事会・第5回東北医学検査学会準備委員会(6月14日)
12. 新潟県成人病予防協会評議員会へ松田会長出席(6月23日)
13. 東北学術部長・研究部門会議へ高野理事、大谷内部部長出席(6月27日、28日)
14. 平成20年度細胞診研修会へ小田副会長出席(6月28日)

15. 第1回表彰委員会（7月3日）
16. 糖尿病対策推進会議・糖尿病検診研修会へ小田辺副会長出席（7月9日）
17. 東北地区プロモーション委員会（仙台市）へ松田会長出席（7月9日）
18. 編集委員会（7月10日）
19. 平成20年度地区・都道府県会長会議（東京都）へ松田会長出席（7月12日）
20. ハッピー乳ライフ実行委員会へ松田会長出席（7月15日）
21. 第3回理事会・第6回東北医学検査学会準備委員会（7月19日）
22. 新潟県がん検診研究会理事会へ小田辺副会長出席（8月6日）
23. 新潟県糖尿病検診研究会理事会へ松田会長出席（8月7日）
24. 8月常任理事会・第7回東北医学検査学会準備委員会（8月9日）
25. 新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会会議へ松田会長出席（8月19日）
26. 抄録部会拡大最終会議（8月22日）
27. 第1回臨床検査精度管理協議会へ松田会長，伊藤理事出席（8月22日）
28. 細胞分野・細胞検査士会合同研修会へ松田会長出席（8月30日）
29. 新潟駅前街宣活動・第8回東北医学検査学会準備委員会（9月6日）
30. がん征圧新潟県大会へ松田会長出席（9月10日）
31. 新潟県臨床検査センター協議会へ松田会長出席（9月13日）
32. 新潟県がん検診研究会運営委員会へ小田辺副会長出席（9月17日）
33. 第4回理事会・第9回東北医学検査学会準備委員会（9月20日）
34. 新公益法人制度説明会へ松田会長出席（10月1日）
35. 新潟支部臨時総会へ松田会長，堀川事務局長出席（10月4日）
36. 拡大東北医学検査学会準備委員会（10月5日）
37. 東北医学検査学会備品準備委員会・TeNY TV出演（10月14日）
38. 東北医学検査学会パソコンのインストール作業（10月15日）
39. 第1回東北地区代表者会議・東北学会前日準備作業（10月17日）
40. 第49回東北医学検査学会（10月18日，19日）
41. 東北医学検査学会関係団体へ松田会長，山崎副実行委員長，小柳学会事務局長御礼挨拶（10月23日）
42. ピンクホリデー 2008へ松田会長参加（10月26日）
43. 衛生検査所立入検査（上越・柏崎）へ松田会長参加（11月6日）
44. 第12回糖尿病検診研究会総会へ松田会長出席（11月7日）
45. 11月常任理事会（11月8日）
46. 新潟県栄養食生活学会役員会へ吉原副会長出席（11月10日）
47. 新公益法人説明会へ小田辺副会長出席（11月11日）
48. 衛生検査所立入検査（佐渡市）へ松田会長参加（11月13日）
49. 東北地区移植輸血部門研修会（新潟市）へ松田会長出席（11月15日）
50. 新潟県生活習慣病検診循環器部会へ松田会長出席（11月25日）
51. 新潟県がん検診研究会総会へ小田辺副会長出席（11月26日）
52. 東北技師会事務局長会議（仙台市）へ堀川事務局長出席（11月28日）
53. エイズ撲滅キャンペーンを県内4市で実施（12月6日）
54. 第5回理事会（12月20日）
55. 糖尿病検診研究会へ松田会長出席（1月7日）
56. 関係団体へ松田会長，吉原・小田辺副会長，堀川事務局長が新年挨拶（1月15日）

57. エコノミークラス症候群予防検査支援会議へ松田会長参加（1月20日）
58. 日臨技女性部会（東京都）へ小田辺副会長出席（1月23日）
59. 日臨技代議員会（東京都）へ松田会長，堀川事務局長出席（1月23日）
60. 新臨技事務局会議（1月29日）
61. 新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会議へ松田会長出席（2月2日）
62. 糖尿病対策推進会議幹事会へ小田辺副会長出席（2月4日）
63. 2月常任理事会（2月7日）
64. 第2回新潟県臨床検査協議会へ松田会長，伊藤理事出席（2月19日）
65. 新潟県生活習慣病予防セミナーへ小田辺副会長出席（2月20日）
66. 第2回東北地区代表者会議（秋田市）へ松田会長，吉原副会長，永井監事出席（2月27日）
67. 上越支部総会へ吉原副会長出席（3月7日）
68. 新潟医療技術専門学校卒業式へ松田会長出席（3月13日）
69. 新潟支部総会へ松田会長，堀川事務局長出席（3月13日）
70. 中越支部総会並びに第2回新潟県通常総会（3月14日）
71. 第6回理事会（3月14日）
72. 北里大学保健衛生専門学院卒業式へ松田会長出席（3月18日）
73. 日臨技女性部会（東京都）へ小田辺副会長出席（3月20日）
74. 新潟大学医学部保健学科卒業式典へ堀川事務局長出席（3月23日）
75. 新潟県成人病予防協会評議員会へ松田会長出席（3月25日）
76. 下越支部総会へ渡邊副会長出席（3月28日）
77. 日臨技第2回通常総会（東京都）へ堀川事務局長出席（3月28日）

平成20年度収支決算報告

平成20年度収支決算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

収入の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
会費収入			8,110,000	8,227,500	△ 117,500	
	正会員会費		6,710,000	6,847,500	△ 137,500	1,245名
	賛助会員会費		1,400,000	1,380,000	20,000	69社
事業収入			2,050,000	2,495,350	△ 445,350	
	参加費収入		0	0	0	
	会誌広告収入		600,000	715,000	△ 115,000	会誌19社
	助成金収入		1,450,000	1,780,350	△ 330,350	日臨技, 県医師会
雑収入			805,000	599,167	205,833	
	預金利息収入		5,000	61,425	△ 56,425	定期利息
	雑収入		800,000	537,742	262,258	研究部門残金, 学会仮払金
当期収入合計	A		10,965,000	11,322,017	△ 357,017	
前期繰越収支差額			1,000,000	1,848,467	△ 848,467	
収入合計	B		11,965,000	13,170,484	△ 1,205,484	

支出の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費			6,890,000	4,914,214	1,975,786	
	学術研究費		2,760,000	1,613,992	1,146,008	
		学会費	300,000	0	300,000	
		学術部活動費	1,500,000	1,126,080	373,920	検査研究部門助成金
		精度管理事業費	500,000	99,235	400,765	新潟県精度管理事業
		負担金	360,000	334,925	25,075	東北技師会負担金
		雑費	100,000	53,752	46,248	源泉徴収税
	総会費		730,000	481,166	248,834	
		準備費	350,000	192,610	157,390	賞状, 筒
		運営費	380,000	288,556	91,444	セミナー費用, 登記料
	広報費		2,900,000	2,317,220	582,780	
		会誌発行費	2,500,000	1,842,813	657,187	会誌発行4号
		広報編集費	400,000	474,407	△ 74,407	編集委員会, 広報活動費
	組織強化費		500,000	501,836	△ 1,836	各支部助成金

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
管理費			4,750,000	3,945,391	804,609	
	事務費		2,340,000	1,953,280	386,720	
		備品費	300,000	11,260	288,740	シュレッダー
		消耗品費	90,000	84,443	5,557	文房具等
		印刷費	200,000	274,097	△ 74,097	封筒, コピー代
		通信費	500,000	530,898	△ 30,898	案内発送, プロバイダー
		交通費	400,000	197,620	202,380	日臨技, 東北会議
		渉外対策費	300,000	216,282	83,718	関連団体, 支部対策費
		報酬費	550,000	638,680	△ 88,680	事務職員報酬等
	会議費	旅費	600,000	556,435	43,565	理事会等旅費
	事務所費		1,630,000	1,404,910	225,090	
		維持管理費	1,500,000	1,328,641	171,359	賃貸料, 電気代
		電話費	100,000	73,691	26,309	
		事務所雑費	30,000	2,578	27,422	事務所備品
	雑費		180,000	30,766	149,234	
		交際費	150,000	30,095	119,905	関連団体慶弔費
		雑費	30,000	671	29,329	
特定預金支出			0	2,462,518	△2,462,518	
	会館建設引当預金支出		0	2,228,098	△2,228,098	
	東北学会引当預金支出		0	234,420	△ 234,420	第56回東北学会積立
予備費			325,000	209,925	115,075	注
当期支出合計	C		11,965,000	11,532,048	432,952	
当期収支差額	A - C		△ 1,000,000	△ 210,031	△ 789,969	
次期繰越収支差額	B - C		0	1,638,436	△1,638,436	

注：予備費209,925円は岩手宮城内陸地震義援金として日臨技へ、また感染検査費として長岡保健所へ拠出充当した額である。

総合財産目録

平成21年3月31日現在

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	519,384	
普通預金		
第四銀行臨港支店	732,835	
ゆうちょ銀行	386,217	
流動資産合計		1,638,436
2. 固定資産		
会館建設引当預金		
第四銀行臨港支店(定期)	10,000,000	
北越銀行県庁支店(定期)	10,035,180	
ゆうちょ銀行(定額4口)	5,268,000	
篠川至賞引当預金		
ゆうちょ銀行(定額3口)	7,801,000	
共済基金		
ゆうちょ銀行(定額3口)	1,724,000	
東北学会引当預金		
ゆうちょ銀行(定額1口)	2,500,000	
固定資産合計		37,328,180
資産合計		38,966,616
II. 負債の部		
1. 流動負債		0
2. 固定負債		0
負債合計		0
正味財産		38,966,616

1. 正味財産増減計算書 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
会館建設引当預金	2,228,098	
東北学会引当預金	2,500,000	
資産増加額合計		4,728,098
2. 負債減少額		0
増加額合計		4,728,098
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
当期収支差額	210,031	
2. 負債増加額		0
減少額合計		210,031
当期正味財産増加額		4,518,067
前期繰越正味財産額		34,448,549
期末正味財産合計額		38,966,616

2. 貸借対照表

平成21年3月31日現在

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,638,436		
流動資産合計		1,638,436	
2. 固定資産			
会館建設引当預金	25,303,180		
篠川至賞引当預金	7,801,000		
共済基金	1,724,000		
東北学会引当預金	2,500,000		
固定資産合計		37,328,180	
資産合計			38,966,616
II. 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			38,966,616
(うち当期正味財産増加額)			(4,518,067)
負債及び正味財産合計			38,966,616

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- ① 資産の評価基準及び評価方法について
 - ・棚卸資産は、最終仕入原価法による原価法。
 - ・投資有価証券は、異動平均法による原価法。
- ② 固定資産の減価償却について
 - ・有形固定資産の減価償却は定率法により行う。
- ③ 引当金の計上基準について
 - ・貸倒引当金、賞与引当金は、法人税法の規定に基づく繰入限度相当額を計上する。
 - ・退職給与引当金は、役員及び職員の退職金支給に備え、退職金期末要支給額を計上する。
- ④ 資金の範囲について
 - ・資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、仮払金、未払金、仮受金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は下記4のとおりである。

- 2 基本財産は所有していない。
- 3 有形固定資産は所有していない。
- 4 未収金等及び未払金等は発生していない。
- 5 担保に供している資産並びに支払を保証している債務はない。
- 6 表示の金額は、円単位で表示している。

第49回東北医学検査学会実績詳細報告書

1. 参加者総数 1,684名

内訳 会員882名 非会員21名
学生205名 市民450名
式典126名

2. 公開講演

作家の火坂雅志先生から「『天地人』の義と愛」の演題名でご講演をいただき、平成21年1月からのNHK大河ドラマの人気もあり一般市民450名も参加し、約1000名の聴講者を得た。

3. 教育講演

東京医科歯科大学名誉教授の藤田紘一郎先生から「『免疫力を高める生活』－アトピーからがんまで－」の演題名でご講演をいただいた。こちらの教育講演も一般市民に公開をした。

難しいタイトルではあったが一般市民にも非常にわかりやすく、ユーモアを多くまじえながらお話いただき、会場からは常に笑いがたえず聴講者からも好評を得た。

4. レクチャー、ワークショップ

レクチャーを分野別7会場で、形態部門ではワークショップ形式として実施した。いずれの会場でも熱心に講義を拝聴した。また、ワークショップでは顕微鏡を用い実践的な症例検討会が開催された。

5. ランチョンセミナー

5会場に分かれ、各分野の最新情報や最新機器の説明をいただいた。

6. 健康まつり

一般市民を対象として簡易検査を実施した。700枚用意した検査結果報告書が足りなくなるほどの大盛況だった。学会テーマである「ふれあう実践」を一般市民の方とまさに体験でき、同時に“臨床検査技師”をアピールできたと思われる。

7. 一般演題

2日間にわたり、8会場で131題の一般演題発表が行われ、熱心な意見交換がなされた。

8. 機器試薬展示

23社から最新の機器や試薬を展示説明していただいた。各ブースには熱心に質問する会員の姿も見受けられた。

第49回東北医学検査学会収支決算報告書

(単位：円)

収 入			支 出				
科 目	予算額	決算額	摘 要	科 目	予算額	決算額	摘 要
学会引当金	2,400,000	478,999	新潟県技師会	会 場 費	1,800,000	2,157,502	朱鷺メッセ
学会参加費	3,500,000	6,342,000	会員5,000×882 非会員7,000×21 情報5,000×357	会場設営費	1,800,000	1,342,425	案内看板 展示パネル 電気工事
交 付 金	750,000	1,361,000	日臨衛生検査技師会	印 刷 費	4,000,000	3,051,574	抄録集6,300部 要綱集1,500部 チラシ8,000枚
分 担 金	560,000	560,000	東北7県	通 信 費	200,000	79,751	発送費 ハガキ代
助 成 金				講 師 謝 金	700,000	949,886	公開講演，特別講演 レクチャー，ワークショップ講師
新潟市	100,000	137,000	新潟市@500×274名	会 議 ・ 旅 費	2,000,000	2,072,040	準備，実行委員会 代表者会議旅費
県医師会	200,000	200,000	県医師会	事 務 費	1,000,000	1,248,127	事務用品，備品 パソコン購入・レンタル
他(厚生連)	200,000	1,570,000	厚生連100,000 賛助会員180,000 レクチャー，ワーク450,000 ランチョン830,000 株じほう10,000	関 連 事 業 費 (予備費)	100,000	3,414,781	式典，懇親会費 健康まつり試薬代， 特別イベント
施設協力金	600,000	400,000	14施設 @20,000×20口				
展示広告料	3,280,000	3,020,000	展示23社 @50,000×36小間 広告23社 カラー70,000×1 モノクロ50,000×23				
雑 収 入	10,000	247,087	祝儀，利息				
合 計	11,600,000	14,316,086		合 計	11,600,000	14,316,086	